

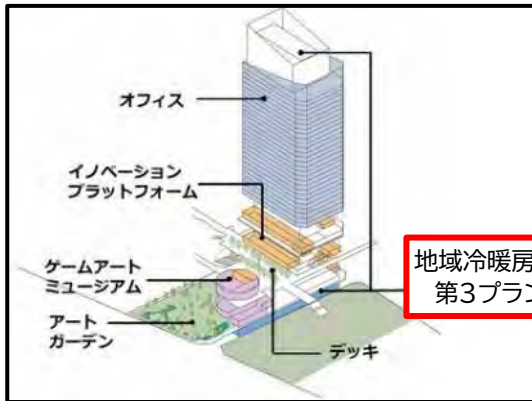
# 地域熱供給で日本初！横浜の脱炭素先行地域で初！ みなとみらい21熱供給が新設する第3プラントで 『横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク』に基づく グリーンローン契約を締結しました

みなとみらい21地区は、環境省から脱炭素先行地域に選定され、参画施設の皆様とともに、電力や熱の脱炭素化に取り組んでいます。

このたび、当地区で展開されている地域冷暖房において新設する第3プラントについて、高効率な空調・熱源等関連設備による省エネ化等の設備投資を実施するにあたり、みなとみらい21熱供給株式会社(以下、「MM21DHC」という。)が、本市が策定した「横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク」(以下、「本フレームワーク」という。)を活用したグリーンローン(以下、「本ローン」という。)に関する融資契約を締結しました。

本件は、地域熱供給として日本初のグリーンローン契約となります。また、本フレームワークを活用した融資の第4号案件で過去最大金額の組成です。また、みなとみらい21地区での活用は初めての事例となります。

## 1 投資対象の概要



みなとみらい 21 中央地区 52 街区開発事業計画図



MM21DHCは、地区開発の進捗に伴う熱需要の増加に対応するため、新たに「第3プラント」を建設します。エネルギー使用効率の高い最新鋭機器を導入することで、CO<sub>2</sub>の削減に寄与します。

### <第3プラントの概要>

住所	横浜市西区みなとみらい5丁目1
供給能力	冷熱 5,100RT、温熱 10t/h (冷熱 19,500RT、温熱 34t/h に拡張可能)
導入設備	インバーターボ冷凍機、吸収冷凍機、貫流ボイラ、熱回収ヒートポンプ
その他	BCP 対策として、災害対策用発電機と大容量の貯蔵タンクを整備

裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 2 グリーンローンに関する融資契約の概要

借入人	みなとみらい21熱供給株式会社
貸付人	民間銀行6行(アレンジャー兼エージェント 横浜銀行)
契約金額	84 億円
契約締結日	令和8年3月18日
資金使途	第3プラント建設費

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」に準拠し、環境課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンで、資金協力後も調達資金の管理やレポーティングを通じて、透明性が確保されます。本市は、国際原則やガイドライン等に基づき本フレームワークを策定し、第三者機関であるDNVからセカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。本件は、本フレームワークならびにDNVから発行された、環境課題の解決・緩和に資するプロジェクトである旨の適合書簡(Letter of Conformance)<sup>※1</sup>を踏まえたグリーンローンです。

なお、適合書簡の取得費用を横浜市が負担する仕組みを活用しています。

横浜銀行は、MM21DHC の環境負荷低減に向けた取組ならびに横浜港のカーボンニュートラルポート形成を金融面から支援すべく、本契約を締結しました。

本ローンは、複数金融機関が参加するシンジケート・ローン<sup>※2</sup>となっており、株式会社横浜銀行が MM21 DHC に提案を行い、本ローンのアレンジャー兼エージェントの立場から認証取得を支援しました。

(※1)DNVのウェブサイトをご参照ください [https://webmagazine.dnv.co.jp/sus\\_finance\\_list.html](https://webmagazine.dnv.co.jp/sus_finance_list.html)

(※2)複数の金融機関が協調してシンジケート団を組成し、一つの融資契約書に基づき同一条件で融資を行う資金調達手法。今回は民間銀行 6 行が参加し、第 3 プラント建設費 84 億円を「横浜港 CNP サステナブルファイナンスフレームワーク」に基づくグリーンローンとして資金調達を実施。

## 3 みなとみらい21熱供給株式会社について

代表者	薬師寺えり子
所在地	神奈川県横浜市中区桜木町一丁目 1 番地 45
事業内容	みなとみらい 21 熱供給は、みなとみらい 21 中央地区の建物に冷暖房・給湯用の冷水、蒸気を供給する地域冷暖房事業者として 1986 年に設立されました。国内最大の地域冷暖房エリアである本地区において、良質、低廉な熱の安定供給に努めております。 みなとみらい 21 地区は、2022 年 4 月に国の脱炭素先行地域に選定されており、当社では、CO <sub>2</sub> 排出量がゼロの熱を供給する「環境価値付熱料金メニュー」の提供など、熱の脱炭素化に向けた取組を進めています。
コメント	みなとみらい 21 熱供給は、街の環境性向上に向けて、2014 年から熱源設備の大規模リニューアル工事を実施し、省エネ、省 CO <sub>2</sub> の取り組みを進めてきました。 今回、グリーンローンを活用して新設する第 3 プラントは、地区全体の冷熱需要の約 20%を供給できる大規模プラントとして、エネルギーの安定供給に貢献するものです。 さらにプラントの整備に合わせて最新鋭の高効率機器を導入し、CO <sub>2</sub> 排出量の削減にも取り組みます。加えて、BCP機能の強化にも取り組み、大容量の貯蔵タンクや災害対策用発電機を整備することで、街区全体のレジリエンス性の向上にも貢献して参ります。

次頁あり



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

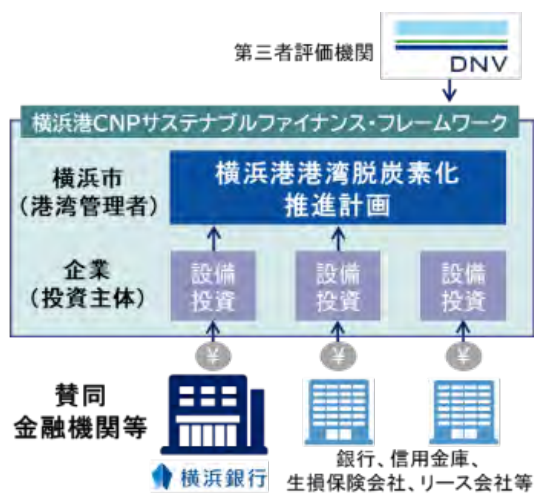
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## (参考1) 横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワークの概要

横浜市は本フレームワークを通じて、民間企業等が「横浜港港湾脱炭素化推進計画」に「港湾脱炭素化促進事業」として位置付けた取組の資金調達時に、国際ルールに適合したサステナブルファイナンスにアクセスしやすくすることで、民間企業等の脱炭素の取組を金融面から後押しし、横浜港のカーボンニュートラルポート形成を促進していきます。

対象事業者	横浜港港湾脱炭素化推進計画の対象範囲において、本フレームワークに定める適格プロジェクトを実施する者
ファイナンスの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンローン(リース含む) 省エネや再エネなど、気候変動の緩和や環境保護・改善を目的とした取組</li> <li>ブルーローン(リース含む) 持続可能な水管理や海洋資源の利用、海洋環境保護を目的とした取組</li> <li>トランジションローン(リース含む) エネルギー転換など、長期的な戦略に則り脱炭素社会への移行を促進する取組</li> </ul>
資金使途	<ul style="list-style-type: none"> <li>適格プロジェクト向け投資の一部または全部に調達額の全額を充当</li> <li>3年以内に実施された適格プロジェクト向け資金調達のリファイナンスも対象</li> </ul>
期間	原則1年以上
金額	上下とも限度額は設定しない。



MM21DHC が今回取得した  
Letter of Conformance の表紙  
(全体はDNVのウェブサイトに掲載)

本フレームワーク及び本フレームワークのご利用の手順や必要書類等は、横浜市ホームページに掲載しています。二次元コードまたは次のリンクからご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/torikumi/cnp/ycnpfw.html>

次頁あり



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## (参考2) 脱炭素先行地域とは

2050年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030年度までに「民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。

本件ローン対象となる第3プラントの設備投資は、横浜港CNPIに加えて、脱炭素先行地域計画に「熱の脱炭素化」の取組として位置付けられ、国の地域脱炭素推進交付金を活用した横浜市脱炭素移行・再エネ推進補助金の対象となっています。本件の取組により、地区のエネルギー効率が高まり、省エネルギー化が進展します。

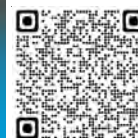


45の参画施設・事業者や脱炭素先行地域における取組はこちらをご覧ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html>

## (参考3) 横浜港が目指すカーボンニュートラルポート構想とは

次世代エネルギー(水素、メタノール、アンモニア、合成メタン等)による船舶や臨海部産業のエネルギー転換の促進等、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や臨海部産業の集積等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、2050年の港湾におけるカーボンニュートラル実現を目指しています。



横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組

### お問合せ先

(脱炭素先行地域の全般について)

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局循環型社会推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636

(横浜港のカーボンニュートラルポートの取組について)

横浜市港湾局政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel 045-671-7279

(本取組の設備投資等について)

みなとみらい21熱供給株式会社 経営企画部 Tel 045-221-0321

(MM21地区のまちづくりについて)

(一社)横浜みなとみらい21 企画調整担当部長 樋口 和之 Tel 045-682-4404

(サステナブルファイナンス・フレームワークについて)

株式会社横浜銀行経営企画部コーポレートコミュニケーション推進室 Tel 045-225-1141

(第三者評価について)

DNVビジネス・ソリューションズ・ジャパン株式会社神戸事務所(本部) サステナビリティサービス統括部 Tel 078-291-1321



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

